

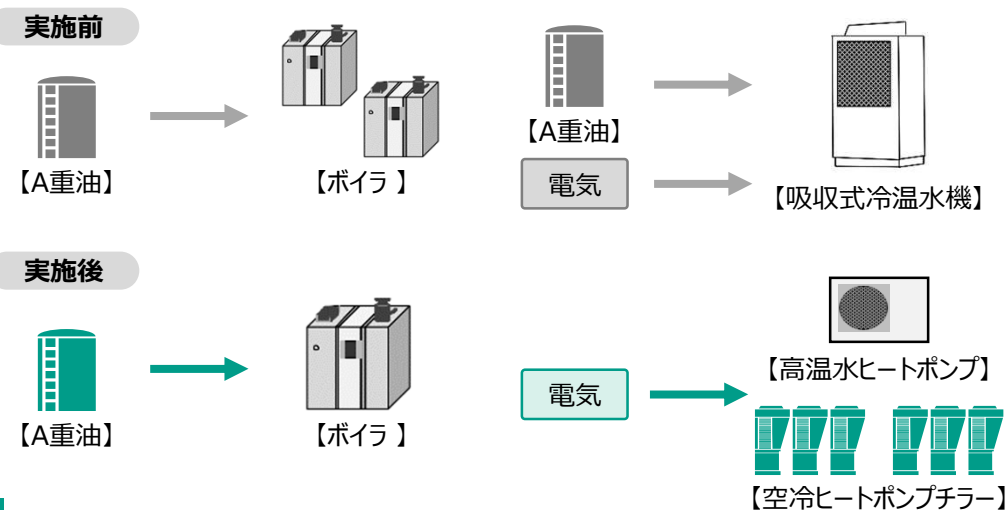
## 4.1 工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業〈設備更新補助事業〉

## ⑥ 空調設備と給湯設備の更新によるエネルギーコストの削減

## 事業概要

事業者概要	事業者名	株式会社温故知新
	業種	対個人サービス
事業所	所在地	愛媛県
	総延床面積	3,500m <sup>2</sup>
補助金額	補助金額	約1,232万円
	補助率	1/3
主な導入設備	従前設備	冷温水機 1 台 ボイラ2台
	導入設備	空冷ヒートポンプチラー2台、高温水ヒートポンプ1台 温水ボイラ1台
事業期間	稼働日	2021年11月
区分		更新
特長		空調設備と給湯設備を同時に導入し、エネルギーコストの削減ができた。また、冷暖房の切り替えがこまめにできるようになったことで、顧客満足度が向上した。

## システム図



## 写真

ヒートポンプ



ボイラ



#### 4.1 工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業〈設備更新補助事業〉

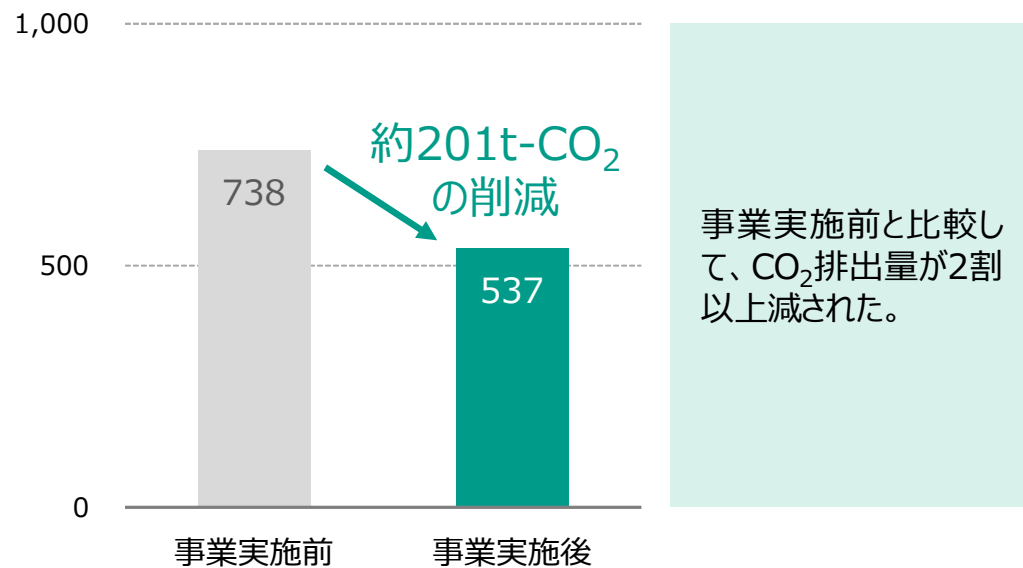
### ⑥空調設備と給湯設備の更新によるエネルギーコストの削減

#### 事業の効果

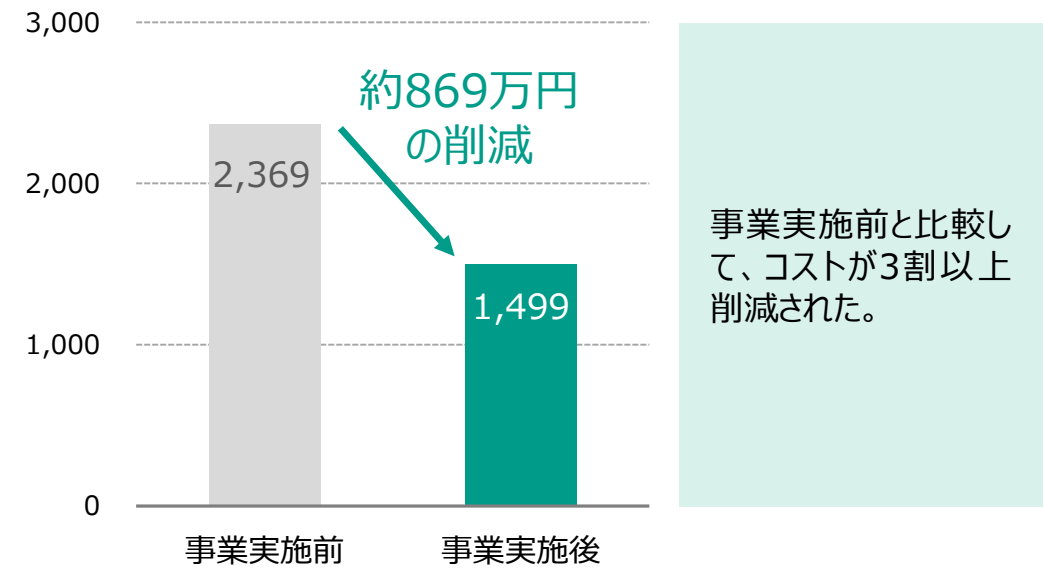
エネルギーコスト削減額		約869万円／年
投資回収年数	補助あり	約3年
	補助なし	約4年

CO <sub>2</sub> 削減量	約201t-CO <sub>2</sub> ／年
CO <sub>2</sub> 削減コスト	4,908円／t-CO <sub>2</sub>

#### CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>／年)



#### エネルギーコスト (万円／年)



#### 【脚注】

※ ここに示す事業の効果は、A重油単価90,800円、電力単価15.2円／kWh（出典：資源エネルギー庁HP）を用いて試算したものである。

## ⑥空調設備と給湯設備の更新によるエネルギーコストの削減

### 事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

#### ■ 「ヒートポンプとボイラーの更新」によって、CO<sub>2</sub>削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- ・ 高効率な設備への更新及びヒートポンプ（都市ガスから電気）のエネルギー転換によりエネルギーコストを大幅に削減できた。加えて、以前の設備だと専門業者によるメンテナンスが必要だったが、導入設備はメンテナンスが容易になり、社内に対応可能となった。その結果、メンテナンス業者への外注が不要になり、ランニングコストの削減につながった。
- ・ 冷房/暖房の切り替えがこまめにできるようになったことで、空調が良く効くようになり顧客満足度が上がった。

#### メンテナンス時のコスト削減

**実施前** メンテナンス時は専門業者が必要だった。



**実施後** メンテナンス時に専門業者が必要なくなった。



メンテナンス時に専門業者が必要なくなったので  
コスト削減になった。

#### 冷暖房の切替がこまめにできる

**実施前** 冷暖房の切り替えが難しかった。



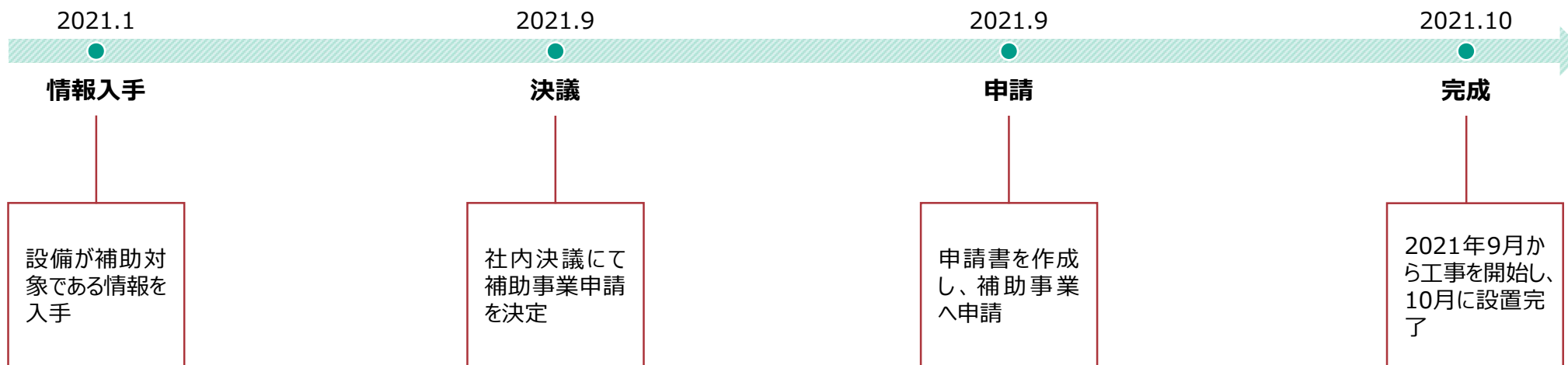
**実施後** 冷暖房の切り替えがこまめにでき、空調が良く効くようになった。



空調が良く効くようになったため、  
顧客満足度が向上した。

## ⑥空調設備と給湯設備の更新によるエネルギーコストの削減

### 事業の経緯／今後の予定



### 事業者の声



#### 下窪 日登美

株式会社温故知新 瀬戸内リトリート青風 支配人

- 空調設備と給湯設備を同時に導入することができたため、エネルギーコストを削減することができました。
- 以前の設備では専門業者によるメンテナンスが必要でしたが、設備更新後は不要となり、ランニングコストの削減にも繋がっています。
- 冷暖房の切り替えもスムーズに行うことができるようになったため、顧客満足度向上にもつながりました。